

コースメモ
129. 橋—57
130. 橋—58
131. 取水口—㉔
132. 取水口—㉕
133. 橋—59
134. 橋—60
135. 橋—61
136. 橋—62
137. 橋—63
138. 橋—64
139. 橋—65
140. 橋—66
141. 橋—67
142. 橋—68
143. 橋—69 (安徳北小学校へ)
144. 橋—70 (小児科へ)
次号へ 今光地区 (青葉保育園周辺)

史跡メモ
ゆめ畑 (JA筑紫 西部グリーン店)
弘法大師・聖観音 那珂川八十八ヶ所85番札所
やじうら溝跡 (裂田溝跡)
あんだら溝跡 (裂田溝跡)
通称「あんだらう」…地名 まつのさいせきとん さいしあと 松木遺跡群 祭祀跡

行に直進しており、橋167を渡ると北へ大きく流れを変えて、350m先の「いちよう通り」まで道路の真ん中を流れています。この水路には橋168、69、70が架かっています。橋168のそばには、「貸菜園」があり、菜園では苗の育て方から料理の献立まで、利用者同士が楽しく話をされている姿を目にします。この一角には、花屋敷とも評判のお家があります。ここは、町並景観大賞に匹敵するスポットで、四季折々の草花は美しく、道行く人々に声をかけているかのようにです。北隣には安徳北小学校があり、登下校時のなごみの通学路として親しまれているのでしょうか。花を絶やさないうような季節を考えてコーディネートされたお庭の美しさにはいつも感動し、家人のこまやかな心遣いに感服しています。

安徳北小学校前の雨水幹線は南北に長く350mありますが、この水路より約25m東によったところに、裂田溝の本流がありました。現在、原形は残っていませんが、水路は五郎丸から町道道善・仲線の地下を横切つて斜めに今光区へと流れていました。「あんだら溝」と呼ばれ、以前は竹笹でおおわれ周囲は広い柿の木畑だったそうです。昭和10年ごろは、夜になるとキツネの鳴き声が聞こえていたと語る古老もおられました。

安徳小学校の東側一帯は昔、小高い丘になっていました。土地区画整理事業に先立って発掘調査が行われ、古墳時代の住居跡が50軒以上見つかり、大きな村であったことが分かりました。発掘調査でみつかった住居のカマドの中には土製の勾玉や鏡などが置かれ、火の神を祀った跡なども残されていました。また出土した土器には、地元で作られた土器以外に中国地方や畿内の土器も混ざっており、当時の人々の交流の広さがうかがえます。また、発掘調査では裂田溝の祭祀と考えられる唯一の遺構が発見されています。

次号は、今光地区を紹介します。

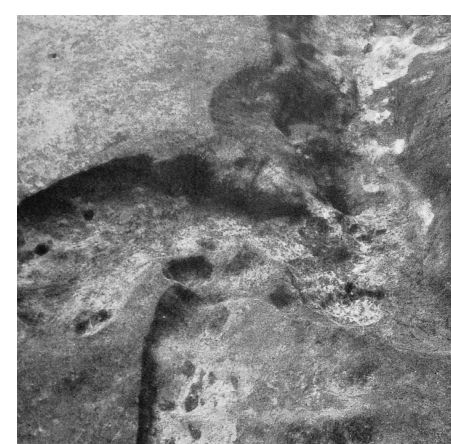
裂田溝は五郎丸地区を過ぎて、町道道善・仲線の道路地下を横断すると、道路沿いの水路に流れ込みます。この水路は雨水幹線として昭和50年代の土地区画整理事業後に設置されました。橋158の西側にJA「ゆめ畑」があります。「ゆめ畑」は、JA筑紫の地産地消を目的とした1号店で7年前にオープンしました。お店は新鮮な季節の野菜が出そろう1時ごろになると、毎日賑わっています。特に毎月28日の「お米の日」は特売日で、「今搗米」と言い、お好みどりの精米に仕上げることができると大変好評です。ほかに那珂川町特産のヤーコン、花、野菜苗、

植木などが特売され、地域住民には安心・安全なお店として喜ばれています。

ここは、旧安徳村の中心地で、JAの前身であった「産業組合」が入った建物の中には「安徳村役場」も同居していました。村長さんは、「産業組合」の組合長も兼任されていたそうです。当時の安徳村には電話が1台だけで、77番の甲が役場、同じく乙が井上病院と使い分けられていたそうです。役場の建物の前には、駐在所、酒屋、バス停などがありました。大正生まれの古老によると、この路線には、「大島バス」が通っていて、バスは起点の市ノ瀬から山田を通り、現人橋、五郎丸、安徳村役場前、中原、春日市の昇町、小倉を通り、当時の中心地であった雑餉隈を経由して、宇美八幡宮前まで運行していたそうで、子どもの頃、バスに乗った想い出を語っておられました。

「ゆめ畑」の前にある取水口㉔巻き上げ式から北へ向かう水路は、裂田溝の支流の「やじうら溝」と言われ、約250m先から東へ曲り、梶原川近くの「やじうら」の田んぼへ取水していましたが、区画整理後は田んぼも無くなり役割を終えています。

橋158から取水口㉕(転倒堰)を過ぎ橋166までの水路は、道路と平



松木遺跡祭祀遺構
出土遺物から5世紀代のものといわれています。



JA筑紫 ふれあい広場「ゆめ畑」
地元で採れた豊富な農産物の直売所です。「なかかわ見聞録～文化財散策ルート」のコースにも登場する、必見のお店です。



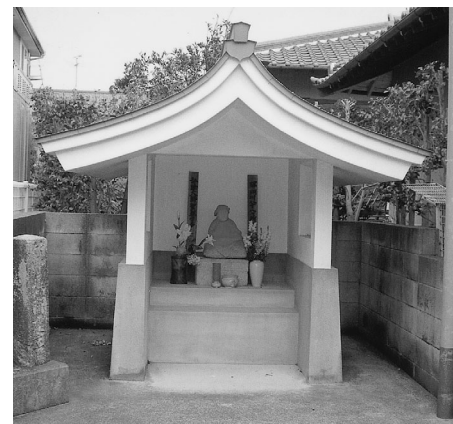
安徳北小学校
明るい子どもたちの声が運動場いっぱいに響き、元気をいっぱいもらえる散策コースの一つです。



橋-68のそばの美しく咲きほころお庭の前ではしばらく足が止まります。どれだけの花の名前が言えるかと、散策する人々の話題も広がる笑顔いっぱいの街角です。



ゆめ畑そばの取水口—㉔
かつては裂田溝の取水口でもあり、「やじうら溝」とも呼ばれていました。



那珂川八十八番札所
85札所 弘法大師・聖観音

探訪 112

なかがわ

那珂川町郷土史研究会

裂田溝39

ゆめ畑・安徳北小学校周辺

